

福島市花と緑の基本計画に係る市民アンケート調査結果(概要版)

- 1 -

調査概要

計画の改定に向けて、市内における花と緑の現況に関する市民の満足度や取組状況、今後の意向等を把握することを目的に市民意向調査を行った。

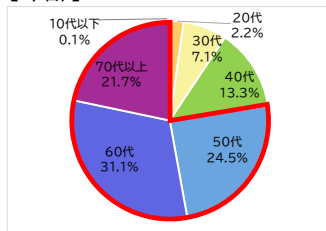
【調査期間】	令和7年6月18日(水) 正午~7月2日(水) 午前8時
【対象者数】	54,846人(福島市公式LINE友だち登録者のうち、受信設定が市内かつアンケート同意者)
【回答者数】	1,807人
【回答率】	3.29%

調査結果

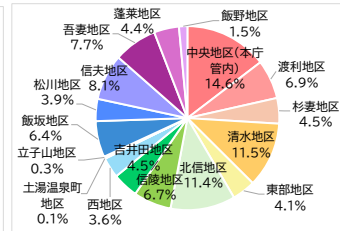
■回答者属性(回答者数:1,807人)

- 年代は60代が最も多く31.1%で、50代以上の回答者が全体の7割以上を占めていた。
- 回答者の60.4%が女性であった。

【年齢】

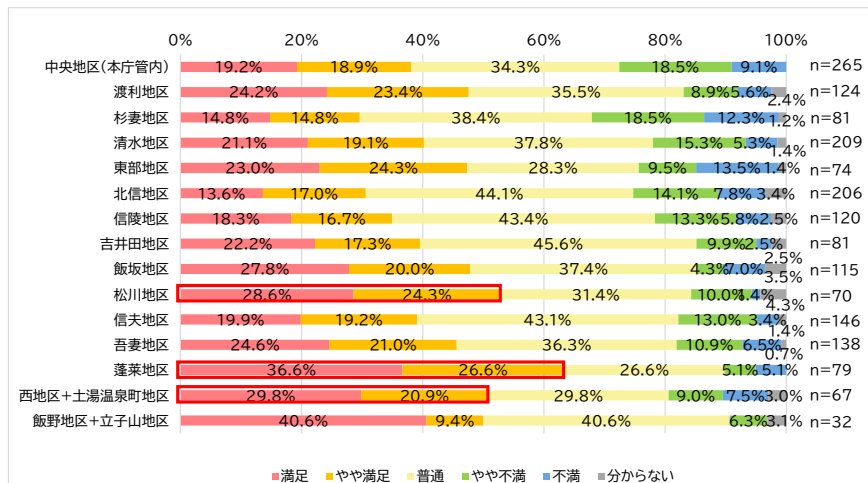
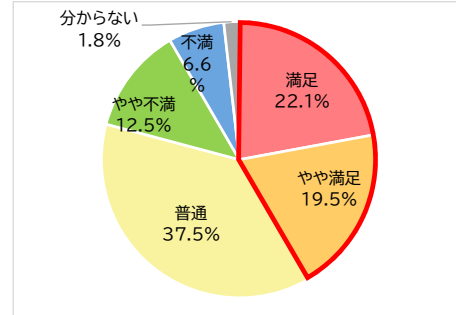


【居住地】



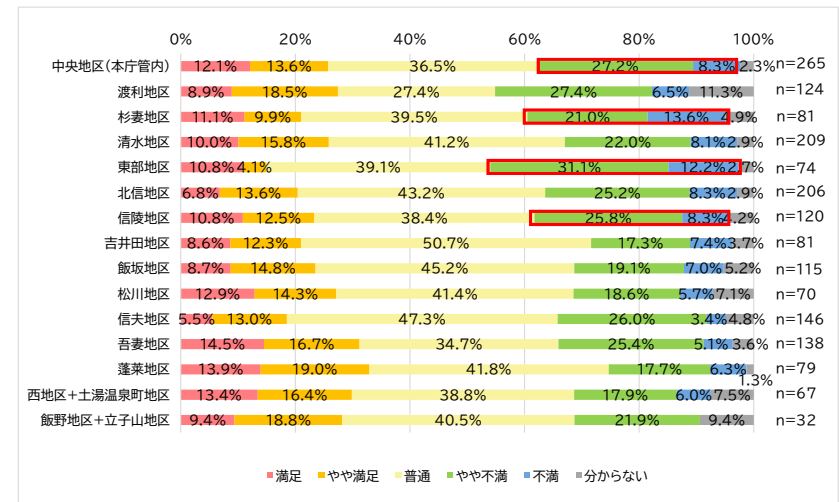
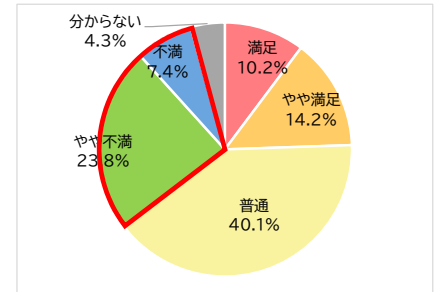
1. 満足度【お住まいの地区の緑について】(回答者数:1,807人)

- 回答者のお住まいの地区の緑について、「満足」と「やや満足」を合わせると41.6%の一方、「やや不満」と「不満」を合わせると19.1%にとどまった。
- 居住地区別で見ると、「満足」と「やや満足」の回答割合が高かったのは、蓬萊地区、松川地区、西地区+土湯温泉町地区等であり、郊外部に居住する回答者の満足度は高いことが分かった。



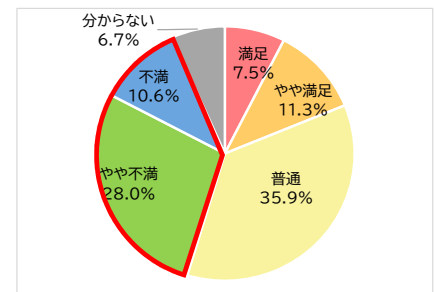
2. 満足度【花の量:市内全体】(回答者数:1,807人)

- 市内全体の花の量について、「満足」と「やや満足」を合わせると24.4%の一方、「やや不満」と「不満」を合わせると31.2%を占めていた。
- 市内全体の花の量を居住地区別で見ると、「不満」と「やや不満」の回答割合が高かったのは、東部地区、中央地区(本庁管内)、杉妻地区、信陵地区等であった。



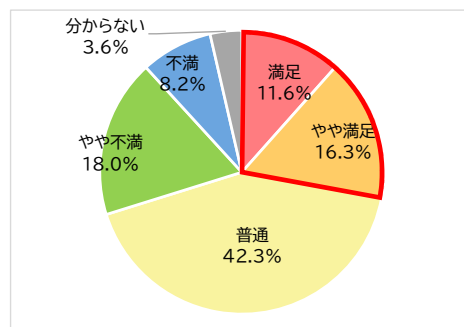
3. 満足度【花の量:中心市街地】(回答者数:1,807人)

- 中心市街地の花の量については、「満足」と「やや満足」を合わせると18.8%にとどまった一方、「やや不満」と「不満」を合わせると38.6%を占めていた。



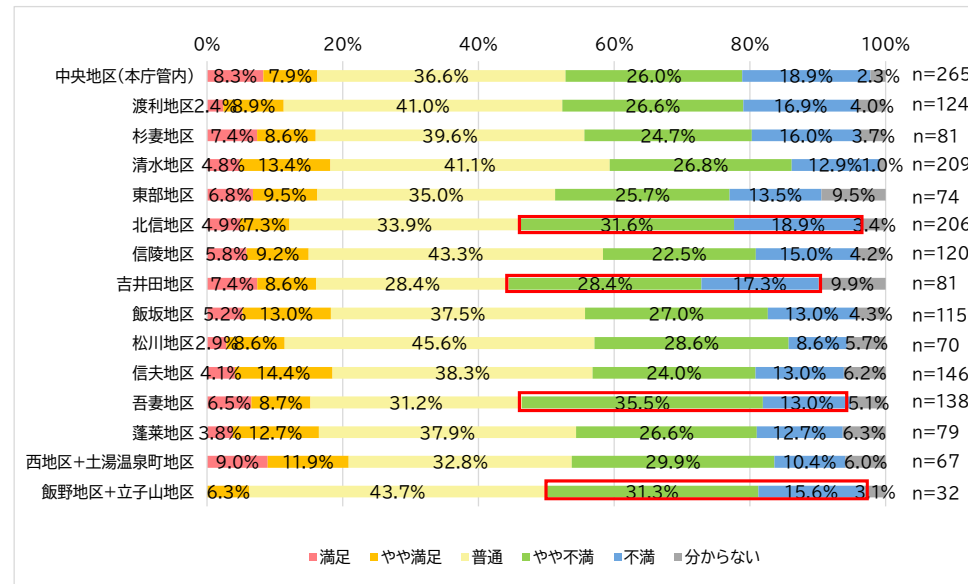
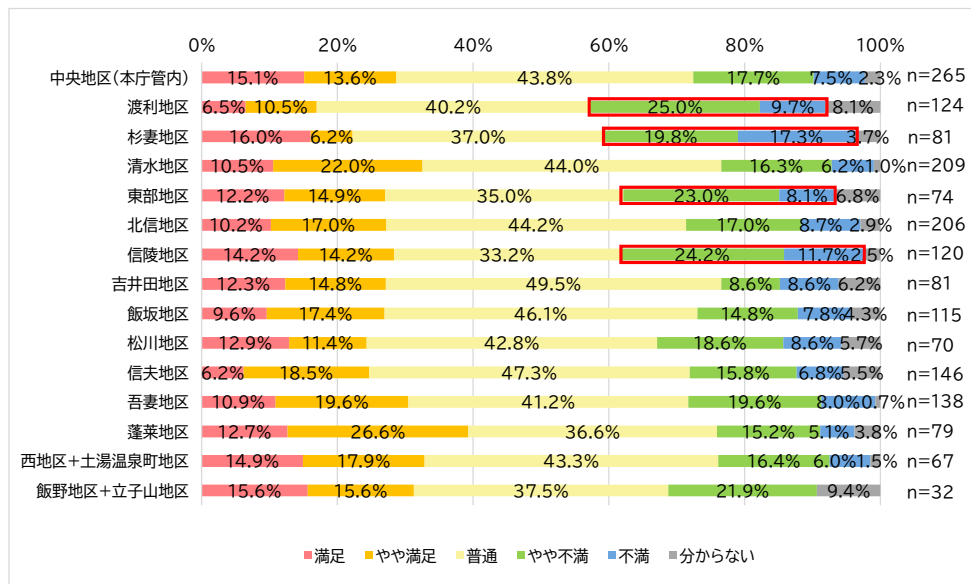
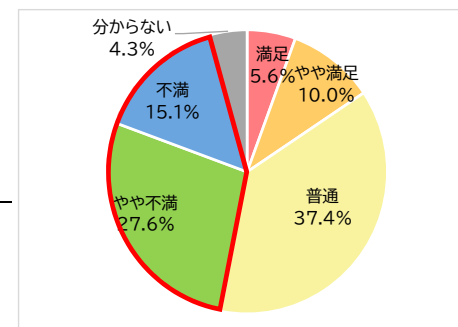
4. 満足度【緑の量：市内全体】(回答者数:1,807人)

- 市内全体の緑の量について、「満足」と「やや満足」を合わせると27.9%の一方、「やや不満」と「不満」を合わせると26.2%であり、同程度であった。
- 居住地区別で見ると、「不満」と「やや不満」の回答割合が高かったのは、杉妻地区、信陵地区、渡利地区、東部地区等であった。



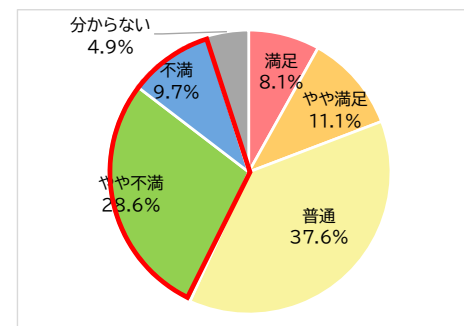
6. 満足度【緑の維持管理：市内全体】(回答者数:1,807人)

- 市内全体の緑の維持管理（緑の質）について、「満足」と「やや満足」を合わせると15.6%にとどまった一方、「やや不満」と「不満」を合わせると42.7%を占めていた。
- 居住地区別で見ると、「不満」と「やや不満」の回答割合が高かったのは、北信地区、吾妻地区、飯野地区+立子山地区、吉井田地区等であった。



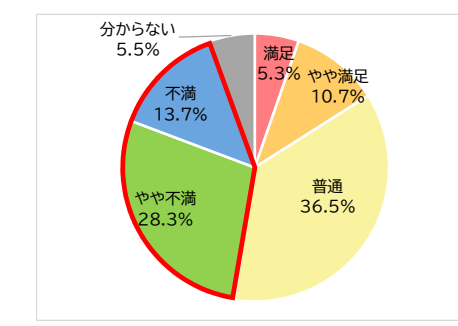
5. 満足度【緑の量：中心市街地】(回答者数:1,807人)

- 中心市街地の緑の量について、「満足」と「やや満足」を合わせると19.2%の一方、「やや不満」と「不満」を合わせると38.3%を占めていた。



7. 満足度【緑の維持管理：中心市街地】(回答者数:1,807人)

- 中心市街地の緑の維持管理（緑の質）について、「満足」と「やや満足」を合わせると16.0%にとどまった一方、「やや不満」と「不満」を合わせると42.0%を占めていた。



【満足度の点数化による分析】

満足度の回答について右表の通り満足度の点数化を行い、各設問の平均点を算出した。その結果、以下の内容を把握した。

- 緑の量の満足（市内全体）のみ平均点が3点を超えたが、5点満点に対して、いずれの項目も平均点が全体的に低い。
- 花の量の満足度と緑の量の満足度は市内全体の平均点と比較して、特に中心市街地の点数が低い。
- 標準偏差がどの項目も1程度であり、回答に大きなばらつきはない。

【算出方法】

満足	=	5点
やや満足	=	4点
普通	=	3点
やや不満	=	2点
不満	=	1点

として算出

※「分からない」の回答は除く

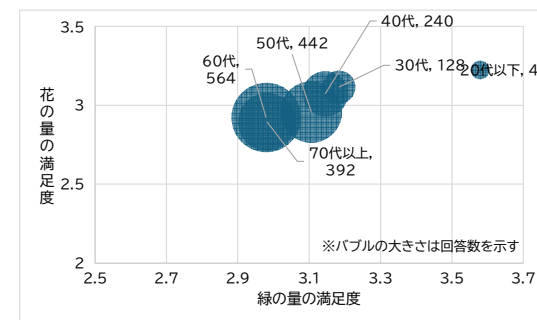
【満足度の平均点・標準偏差】

項目		平均点	標準偏差
花の量の満足度	市内全体	2.96009	1.06369
	中心市街地	2.75445	1.06724
緑の量の満足度	市内全体	3.05224	1.08328
	中心市街地	2.78243	1.05647
緑の維持管理の満足度	市内全体	2.61885	1.05374
	中心市街地	2.63562	1.04199

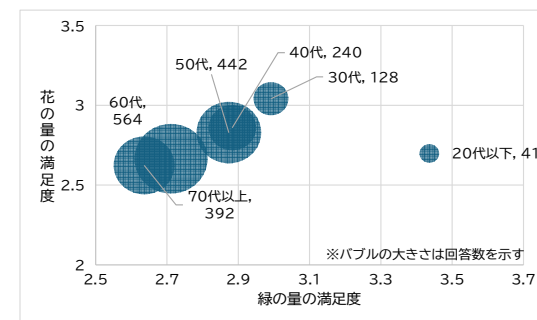
■満足度の回答傾向

- 緑の量の満足度と花の量の満足度の関係を見ると、年代があがるにつれて満足度が低くなる傾向にある。
- また、市内全体よりも中心市街地の満足度が全体的に低い。

【緑の量×花の量：市内全体】



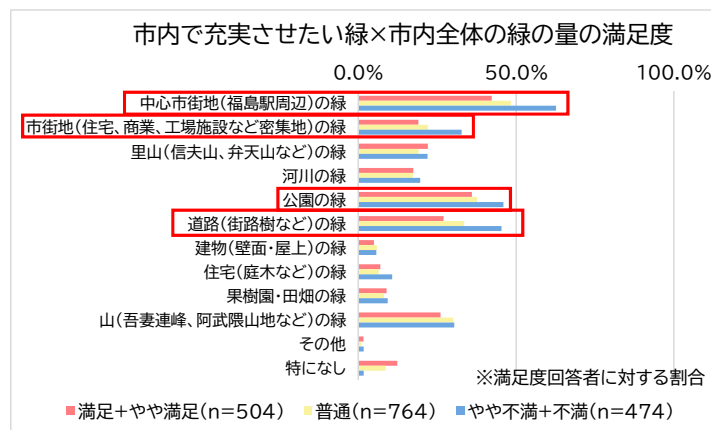
【緑の量×花の量：中心市街地】



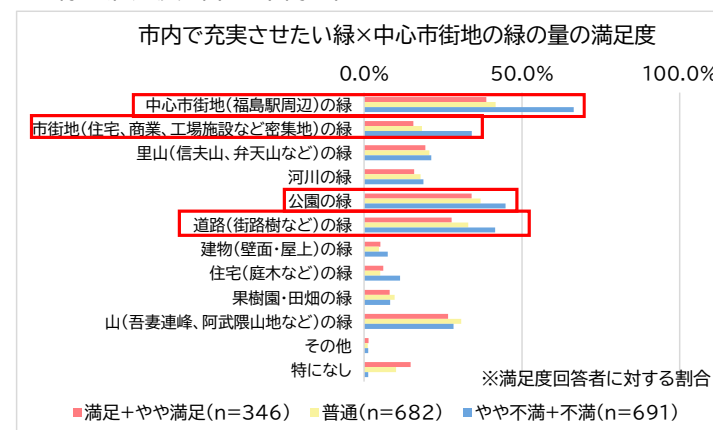
8. 充実させたい緑（複数回答可）

- 市内で充実させたい緑と緑の量の満足度の関係を見ると、「満足」「やや満足」と回答した人と「やや不満」「不満」と回答した人でともに回答が多かった項目は、「中心市街地（福島駅周辺）の緑」、「市街地（住宅、商業、工場施設など密集地）の緑」、「公園の緑」、「道路（街路樹など）の緑」であった。
- つまり、市内全体及び中心市街地における緑に対する不満を解消させるためには、「中心市街地（福島駅周辺）の緑」、「市街地（住宅、商業、工場施設など密集地）の緑」、「公園の緑」、「道路（街路樹など）の緑」等を充実させる必要があると考えられる。

■緑の満足度（市内全体）



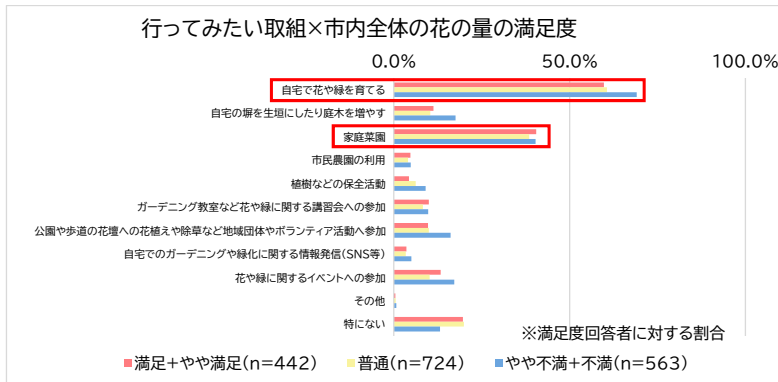
■緑の満足度（中心市街地）



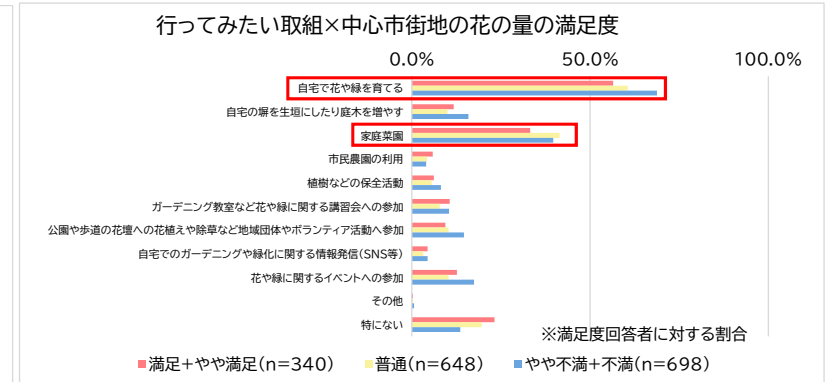
9. 現在行っている/今後行ってみたい取組（複数回答可）

- 同様に、現在行っている/今後行ってみたい取組と花の量の満足度の関係を見ると、ともに回答が多かった項目は、「自宅で花や緑を育てる」、「家庭菜園」であった。
- つまり、市内全体及び中心市街地における花に対する不満を解消させるためには、「自宅で花や緑を育てる」、「家庭菜園」等の取組を促す必要があると考えられる。

■花の満足度（市内全体）



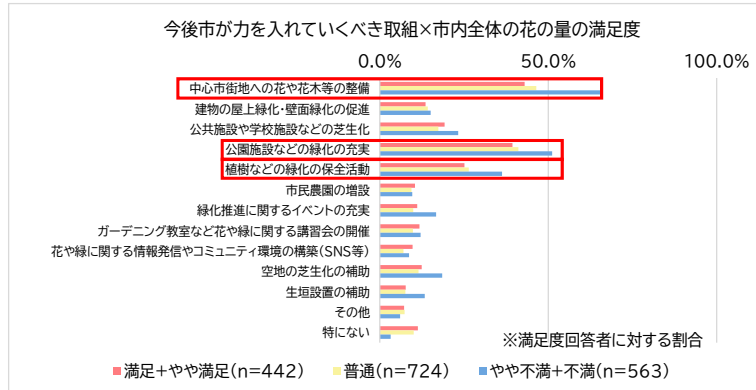
■花の満足度（中心市街地）



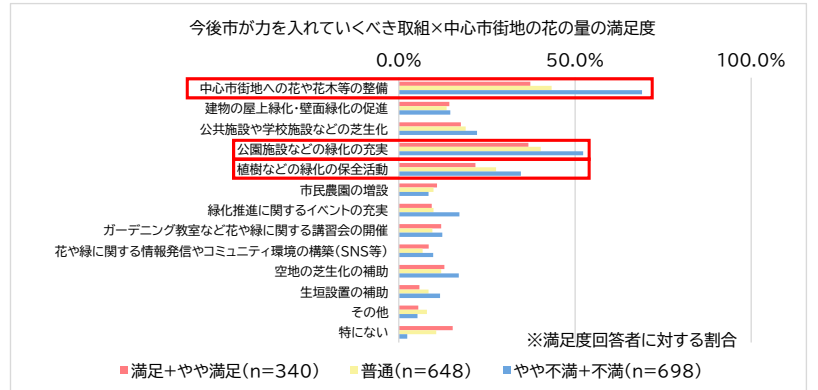
10. 今後本市が力を入れていくべき取組（複数回答可）

- 同様に、今後本市が力を入れていくべき取組と花の量の満足度の関係を見ると、ともに回答が多かった項目は、「中心市街地への花や花木等の整備」、「公園施設などの緑化の充実」、「植物などの緑化の保全活動」であった。
- つまり、市内全体及び中心市街地における花に対する不満を解消させるためには、「中心市街地への花や花木等の整備」、「公園施設などの緑化の充実」、「植物などの緑化の保全活動」等に積極的に取り組む必要があると考えられる。

■花の満足度（市内全体）



■花の満足度（中心市街地）



本市の花と緑に関する主な課題

■全体的な傾向から見える課題

- 将来の担い手でもある40代以下の若い世代が必要としている取組を推進する必要がある。
- 花の満足度、緑の満足度ともに特に中心市街地における満足度を高める必要がある。

⇒花の満足度及び緑の満足度について、不満を解消し本市における満足度の全体的な底上げを図る。

■花と緑に対する傾向から見える課題

- 市内全体、特に中心市街地における花が不足している。
- 中心市街地における緑が不足している。
- ⇒中心市街地における花と緑の創出を強化するとともに、満足度の高い郊外部と中心市街地との連続性が感じられる花や緑のネットワークを形成する必要がある。
- 緑の維持管理は中心市街地だけでなく、市内全体においても不足している。
- ⇒将来にわたって質の高い花と緑を守るための持続可能な維持管理を推進する必要がある。

■花と緑の取組に対する傾向から見える課題

- 市内には現在も公園・緑地が多く分布しているものの、さらなる充実が求められており、既存の緑を活かしきれていない可能性がある。
- 個人の取組に加えて、居住地や年代を問わず、花や緑の創出や維持管理に地域で貢献できる取組が必要。
- ⇒既存の花と緑を守りながら、新たな利活用の視点で取り組む必要がある。
- ⇒花と緑に対する市民意識を高め、今後の保全・利活用に関する担い手の確保が必要である。